

更衣訓練用具「布輪」の作り方



はじめに

- 更衣動作は、日々の着替えやトイレ動作などのセルフケア自立に重要である。しかし、加齢や疾患の影響により更衣動作に支障をきたすことがある。特に下衣操作困難はトイレ動作の自立度を低下させる要因であり、介護の有無だけでなく尊厳にも関わる問題である。
- 布輪とは、更衣動作の練習に用いる訓練用具の一つである。使い方は、段階付けとしての間接的更衣練習、具体的生活行為のシュミレーションを伴う活動と参加に関する練習として使用できる。
- 作成方法や使用方法について、以下に紹介する。



特徴

- 更衣動作の模擬練習(間接・応用訓練)に使用。
- セラバンドを巻きつけて行う方法もあるが、訓練中にゴムが丸まって細くなり、つかみにくくなりやすい・爪が引っかかり破損するなどのリスクがある。布輪はそういった問題を解消できる。
- 道具を使う事で、「その動作だけ」に集中でき、「かぶる」「腕を通す」「上げ下ろす」といった更衣動作のイメージ回復が図れる。
- 好きな布の柄や色が選べる。
- 裁縫活動としても参加できる。



準備する物

- 布(はぎれなど)
 - 布の長さは、腸骨稜直上の周径+20cm程を目安にする。
(この資料では16cm×100cmで作成)
- 裁縫セット(縫い針・糸・ゴム通し)
- 平ゴム
 - 長さは布の7割を目安にする
(この資料では70cmで作成)



手順①

表が内側になるように布を半分に折り、端から1cmの所をなみ縫いする。



手順②

縫った所を中心に広げる。布の上下を合わせて折る。



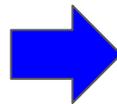
手順③

一番上と下の布を合わせ、なみ縫いする。



手順④

布を裏返して輪っか状にする。



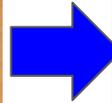
手順⑤

縫えていない所をなみ縫いする。



手順⑥

ゴム通しで平ゴムを通し、通し終わったら結ぶ。



以上で完成です。



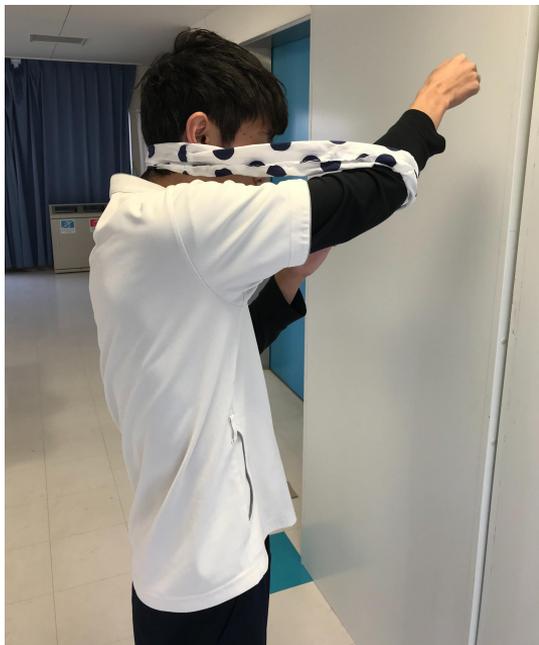
訓練場面での使用例①

<下衣の着脱訓練>



布輪を上げ下げすることで、下衣操作の練習をする。

訓練場面での使用例② ＜上衣の着脱訓練＞



布輪を体幹に通したり抜いたりすることで、かぶりシャツ着脱動作を練習する。